

令和元年度の田作り ～第13期大椎っ子田んぼ、第10期あすみっ子田んぼ 稲刈り～

令和元年の小学校田んぼの田作り3回目の作業は稲刈りでした。今季は令和元年台風15号の被害を被るなど、田んぼに数々の苦難がありましたが、関係皆様のご協力の元、晴れてこの日を迎えることが出来ました。子どもたちにとっては田んぼでの体験最終日でしたが、いつもの楽しさ驚きに寂しさも加わって、様々な想いが去来した様です。

※今回は稲刈りの感想を中心に掲載させて頂きました。編集しちゃってごめんなさい！

◎大椎子田んぼ (9月25日実施)

★自分が食べているお米を作ることがこんなに大変だなんて初めて知りました。田植え草取りは大変だったけれど稲刈りは鎌でサクッと切るのが面白かった。4～5カ月でこんなに成長するなんて思っていなかったから見たときにびっくりした。(K.Y)

★鎌がすごい恐かったけどやってみると意外とやりやすくて楽しくなってきました。今日は田んぼが臭かったけど一番楽しかったです。やっぱり田んぼは大変なので感謝したいなと思いました。(C.N)

★最初はなかなか取れませんでした。でも教頭先生やボランティアの方に教えてもらって、だんだん使えるようになり2回目にはすらすら取れるようになりました。もっと稲刈りをしたくなりました。これからは米も他の食べ物もそまっにしないように改めて思いました。(F.T)

★最初は泥に入るとき気持ち悪かったけど、だんだん慣れて来て田植えの頃より楽しかった。鎌で稲を切るのがとても気持ち良かった。でも、持って帰るとき重くてとても大変だった。(T.Y)

★米がこんなにも作るのが難しいのだと感じました。毎日お世話している人に感謝したいと思いました。虫も米に役立つことをしてくれて米にとって害虫は米をだめにしてしまうかもしれないので、農家は毎日頑張ってくれているんだなと思い、食べ物を大切にしていきたいと思いました。(M.K)

★鎌の下を見てびっくりしました。ギザギザしていかにも切れそうだったからです。切ってみるとすぐに切れてとても楽しかったです。(T.W)

★稲はぐんぐんと育ててよかったなと思いました。鎌はすごく切れて足を切りそうで怖かったです。でも、ずっとやっていると、慣れて来て「スパッ」と切れる様になりました。もっとやりたかったです。(K.K)

★すごく上手くなりました。刈り方は、少し後ろに引きながら横に切ります。最初はできなかったけれど、2回目は上手いって、2分か3分ぐらいで15株を切れました。楽しいから今度もやりたくなりました。(Y.K)

★夏休み明けから少したち稲刈りの日が来た。少まいやという気持ちがありましたが、田植えをした時より楽しくできました。なにかを切るのが好きなため結構おもしろかったです。(Y.S)

★6月、私の足首までしかなかった稲が私の体の半分位までのびていました。直撃した台風15号の影響で倒れていないか心配だったので、元気そうな稲をみてほっとしました。力強く元気に育った米(稲)を食べれる日が待ち遠しいです。(R.M)

★お母さんに「スポン汚さないでね」と言われましたが、みごとに破りました。膝の少し上まで漬かって刈りました。めちゃくちゃ楽しかったです。最高でした。お母さんの顔が！(M.M)

★最初はとても時間がかかったけれど、最後の方はうまく切れる様になったので嬉しかったです。渡された稲を持っている時、意外と重くてびっくりしました。(K.O)

★久しぶりに行ったら、かかしがあって驚きました。刈るときはチームワークが鍛えられたと思います。色々な事を教えて頂きました。その中で稲が倒れたときに直して頂いて「え」と思いました。(Y.O)

★もう稲刈りですか、ながかったようなそうでもないような。足を守るためにみんなくつ下をはいて田んぼに入りましたけど出て来た人が「気持ち悪い～」と言ってました。気を付けていたタニシ。3つくらいしか見ていない。また会おうタニシ。「やっと米が食べられー！」ませんね。もう少しがんばろう。(T.S)



◎あすみ子田んぼ (9月30日実施)

★あすみ田んぼに行く最後の日は稲刈りでした。3回目でだいぶ慣れて仕事も早くできました。たくさん稲を刈れたし前のN君も手伝えました。学校に帰ってからも、2束を自分でらせん階段に干すことができました。稲刈りの時に水面ぎりぎりを刈ったのでしっかりと養分がお米に行くと良いと思いました。(H.O.)

★谷津田へ行く最後の日だった。自分が植えた苗を目の当たりにした友達と口々に「すげー大きく育ってる!!」と言っていた。田んぼに入った。冷かった。二度とこれは味わえないと思い田んぼの中に長くいたかった。一本目はうまく切れなかった、二、三、四本と、だんだんうまくなっていくのを実感した。いっぱいとれたね、と言われ嬉しかった。来年もやりたいなあと思った。(Y.O.)

★稲はとても生長していて7月より大きくなって実もなっていました。稲刈りには予想より強い力が必要だったので、びっくりしました。1、2株刈るだけで結構な時間がかり1ha刈るのは1日以上かかると思いました。150日くらいの3日間手伝っただけなのでまだまだ知らないことなど沢山あります。農家は日本の食卓を支えていることに違いありません。貴重な時間がとても楽しかったです。(S.S.)

★最後のあすみ田んぼで水は7月より冷たく土はとてぐちよくちよしていた。稲を親指を下に持ち、もう片方の手で水面近くを刈るのはとても難しかったです。稲は7月よりずっと大きくとも太くなっていました。穂の部分がとても硬かったです。もう来れないけど出来るとしたら稲を育てるところからやってみたいです。(H.S.)

★田植えの時と比べて色が肌色(茶色)っぽくなっていました。大きさも数十センチ伸びていてびっくりしました。鎌を初めて使ったので意外と軽くてびっくりしました。ボランティアの人に「上手だね」と言われて嬉しかったです。(M.M.)

★いつもと違い長ズボンで田んぼに入ったのでびっくりしました。鎌が上手く使えず切り難かったけどコツを掴むと上手くできました。お米12株でもかなり重かったので、農家さんは毎年やっているのかと思うと「すごい人たちだなあ」と思いました。早く脱穀をして給食で全校生徒に食べてほしいと思いました。(A.S.)

★稲刈りと聞いて少しやわらかい土でそこに稲があるのかなと思いました。あすみ田んぼに着いたら普通に水があったのでまあ仕方ないなと思いました。刈るとき少し心配したけど意外と鎌の切れ味が良かったので安心しました。少しだけ思ったのと違ったけど無事終わったので良かったと思いました。これで田んぼに行けないと思うとちょっと悲しいけど、米をおみやげで持ってこれたので嬉しかったです。(Y.O.)

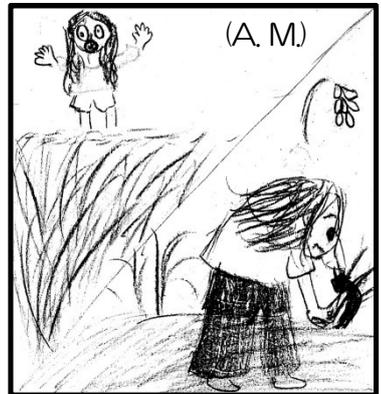
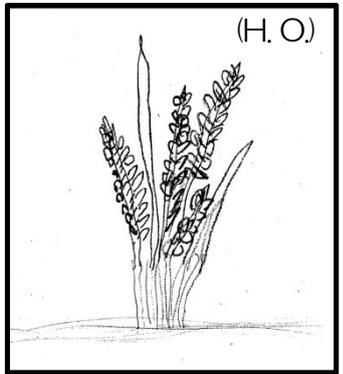
★12株稲を刈りました。自分で育てたお米なので大事に刈ってあげたいと思いました。「かま」を使って稲刈りをしたけど、少し怖く感じました。でも使い方を教えてくれて少し安心しました。ボランティアの皆さんがいた事によって怪我無く稲狩りが出来ました。次はさやむき(粃摺り)なので美味しいお米が出来る様に頑張りたいです。(K.I.)

★鎌を使いこなすことが出来ました。使う前は結構難しいのかなと思っていたけれど使ってみると結構簡単でした。稲は少し硬かったので力が要りました。成長しているの固くなったんだと思います。最後のあすみ田んぼは楽しく思いっきりやれてよかったです。(K.I.)

★最初は稲を切るのが難しかったけど、どんどん慣れて行って最後らへんは自分で上手く行ったと思う。自分たちが育てた稲がここまで大きくなって嬉しかった。ボランティアさんたちと一緒に出来て嬉しかった。手伝ってくれてやりやすかった。学校に干すと言っても、持って帰るのがつかれた。粃摺りを頑張りたいと思います。(K.O.)

★台風があったとき倒れて根っこまで抜けているかと心配でしたが話を聞いたあと安心しました。ボランティアさんが紐で結んでくれたと聞いて本当に良かったなと思いました。2つのことを学びました。一つ目はお米作りの大変さ、二つ目はお米は様々な人の力を借りて育っていくこと。今日であすみ田んぼとお別れするのが寂しいけど、楽しかった思い出を心にしまっておこうと思います。谷津田の方々、ボランティアの方々本当にありがとうございました。(Y.T.)

★思っていたより稲がいっぱいできていました。思ったよりぐんぐん稲が成長してびっくりしました。鎌をもらってドキドキしながら稲を切ってみると刃はとて鋭くて初めてやった私でも簡単に切ることができました。またやってみたいです。(A.M.)



◎先月号に引き続き、かかし製作者の声が届きました!

★かかして作るの難しいかと思ったけれど、服を選んで、藁を編んで、服を着させて、竹をつけて、顔を書いて完成だったからびっくりしました。稲も良く育っていて綺麗な色をしてお米になったら美味しそうだなと思いました。稲刈りが楽しみです。(5年1組 金川莉子)

★かかし作りで楽しいことがいっぱいありました。かかしに変な名前をつけたり、友達の上の頭にいらぬ竹を置いたりしました。スボンのところに草を入れるのが大変でした。できたらまたやりたいです。(5年1組 石井ゆな)

←【かかしのかか子さん】

作) 柏さん、金川さん、石井さん 絵) 金川さん



里山たんけんレポート

第237回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2019年10月6日(日)曇

谷津は秋の草花でいっぱい。畔はミノソバ、アキノウナギツカミ、イヌタデ、ハッカ、ヒメジソ、カントウヨメナ、イボクサ、コブナグサなどが踏まないでは歩けないほど。田んぼの中にはタウコギ、ヤナギタデ、コナギ、キクモなどが、道端ではコシロノセンダングサ、アメリカセンダングサ、イネ科植物などが花盛りでした。林縁近くではメナモミやキバナアキギリが満開で種散布の戦略やトラマルハナバチに花粉を付ける戦略など観察することも出来ました。

トンボ調査も行いましたが姿は少なく台風の影響に加えて曇天だったこともあってわずか4種18頭捕らえたのみでした。

参加16名(大人11名、小学生3名、幼児2名)

報告・写真 網代春男



第241-1回 下大和田 YPP「古代米稲刈り」

2019年10月19日(土)

第241-2回 下大和田 YPP「古代米稲刈り」

2019年10月20日(日)

朝まで猛烈な雨でしたが集合時刻には曇り空になってくれました。しかし、小川沿いの田んぼは増水し深くて入れなくなってしまいました。結局、カヤネズミ田んぼの緑米だけを刈り、川沿いの田んぼは翌日水が引いたところで刈ることとしました。20日の森と水辺の手入れは中止しました。

初日終了後スタッフは下流部の小川の草刈りをして水位を下げ、翌日の稲刈りに備えました。

20日は刈り取りを全部終わらせようとみんなで一生懸命頑張って16時にはおだ掛けまで全部作業を終わることが出来ました。二日に亘って参加して下さった方もいらっしやいました。刈りながら子どもたちはザリガニを捕まえたり楽しんでいました。田んぼの中でホトケドジョウを捕まえたお子さんもいました。稲にはカヤネズミの巣が6つ掛けられていました。

林内には傘の径が28cmもあるキノコ(ムシオオイチョウタケ)が出ていました。

参加 19日 31名(大人20名、小学生9名、幼児2名)

20日 19名(大人13名、小学生4名、幼児2名) 報告 網代春男・写真 田中正彦



第180回・181回 小山町 YPP「コシヒカリ・古代米の稲刈り、脱穀」

2019年10月6日(日)曇、14日(祝)小雨

6日は、コシヒカリの稲刈りを終了させました。涼しくちょうど良い気候だったので作業しやすかったです。

14日は、黒米の稲刈りの後、干してある稲の脱穀をする予定でしたが、雨だったので、稲刈り終了後はいのしし対策をやりました。数年前から畦に来ていましたが、だんだんと範囲が広がり、まだ稲刈りをしていない緑米の中まで入り、ずいぶん稲をダメにしまいました。

まだ荒らされていない所を守るため、稲刈りの終わった小学校田んぼで使ったかかしを再利用したり、周りにロープや棒を立てたり工夫しました。

参加 6日 大人5名、14日 大人3名

報告・写真 たんぼぼ



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 10月 6日 コスモスの花満開。(赤シャツおやじ)
10月 16日 ニホンカナヘビ、稲につかまって休む。ヨメナの花咲く。(たんぼぼ)
10月 24日 竹の中にニホンアマガエル。(たんぼぼ)

下大和田

- 10月 14日 ニホンリス出現。(網代)
10月 26日 ムレオオイチョウタケ(キノコ)の径が31cmになる(網代)
10月 27日 アオジ地鳴きを聞く、今シーズン初。ツクツクボウシまだ鳴いている。(網代)



イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

▼第243回 下大和田YPP「初すい」

米作り最後の工程、粃殻を取り玄米にします。米作り参加の方へお米を配ります。

- 日時: 2019年11月16日(土) 9時45分~15時 小雨決行
場所: 千葉市若葉区 大草いきものの里 管理棟脇
集合: 現地 大草生きものの里駐車場 連絡先 網代(あじろ) 090-2301-0413。
交通: JR千葉駅 10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで「大草」下車、北東750m。
JR千葉駅または千城台駅から京成バス千城台車庫行きで「終点」下車、400m。
持ち物: 弁当、飲み物、長袖・長ズボンの服装、マスク、敷物など。
参加費: ちば環境情報センター会員300円、一般500円(小学生未満無料)、米作り年間参加は別途済み。
主催: ちば環境情報センター 共催 ちば・谷津田フォーラム

▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内の倒木の整理をします。チェーンソーをお持ちの方はご持参ください。

- 日時: 2019年11月17日(日) 9時45分~12時 雨天中止
場所: 千葉市緑区下大和田谷津
集合: 現地。初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に網代(あじろ) 090-2301-0413までご連絡ください。
交通: JR千葉駅 10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、徒歩5分で現地。<千葉駅発8:25、8:40など、所要時間45分>料金は540円。
持ち物: 弁当、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、軍手、帽子、敷物など。
主催: ちば環境情報センター

▼第239回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

紅葉の谷津を巡ります。冬越の鳥にも出会える頃です。

- 日時: 2019年12月1日(日) 9時45分~12時 雨天決行。
場所: 千葉市緑区下大和田谷津 交通: (同上)
集合: 現地 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)
持ち物: 筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば環境情報センター、ちば・谷津田フォーラム

▼第182回 小山町YPP「古代米の脱穀」

古代米の脱穀をします。

- 日時: 2019年11月17日(日) 10時~ ☆小雨決行
場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)
持ち物: 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば環境情報センター

■編集後記 令和元年の秋は災害続きでした。千葉県下では台風15号(9月5日上陸)による強風被害も癒えぬまま、台風19号(10月12日上陸)による集中豪雨被害が発生、さらに本州南岸を通過した台風21号および低気圧による異常降水(10月25日)では土気地区でも土砂崩れ水害が発生し、犠牲者も出てしまいました。復興の道りに険しさはありますが、堪えて力強く頑張る被災者の方々、暖かな応援を下さる県外の方々の力に身が引き締まる思いです。がんばろう!千葉県!(赤シャツおやじ)